

改訂2版『集中講義 生化学』正誤表

改訂2版『集中講義 生化学』(2017年4月1日第2版第1刷)に誤りがありました。ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

2019年1月30日  
(メジカルビュー社編集部)

頁	該当箇所	誤	正
50	図2 一番上の図		 <p>赤いRNA分子の「テロメアDNA」が「<b>テロメラーゼRNA</b>」となる。</p>
66	本文最終行	…セリン, <b>プロリン</b> , アルギニンは6通りの	…セリン, <b>ロイシン</b> , アルギニンは6通りの
69	図2 Step1 右下	A部位に入った <b>アミノアミル</b> tRNA	A部位に入った <b>アミノアシル</b> tRNA
196	本文下欄外	p.199 QUESTION 正解	p.203 QUESTION 正解 (p.204へ移動)、p.200 にある正解が入る。
197	表1	鉄(Fe) (Feイオン)の列にある ドーパミンβヒドロキシラーゼ を <b>銅(Cu)</b> の列へ移動	
200	本文下欄外	p.195 QUESTION 正解	現在ある正解はp.196 へ、p.204 にある正解が入る
204	本文下欄外	p.203 QUESTION 正解	p.199 QUESTION 正解 (p.200へ移動)、p.196にある正解が入る。
212	模範解答2行目	…ピルビン酸は乳酸となり <b>2分子の乳酸</b> , 2分子のATPとなる。	…ピルビン酸は乳酸に <b>まで代謝され結果的にグルコースは2分子の乳酸と2分子のATP</b> になる。
226	図1 ここがPOINT	マトリックス側に汲みあげられたプロトン(H <sup>+</sup> )はATPシンターゼによって <b>内腔側</b> に戻る。そのときにATPが生じる。	<b>膜間腔側</b> に汲みあげられたプロトン(H <sup>+</sup> )はATPシンターゼによって <b>マトリックス側</b> に戻る。そのときにATPが生じる。
233	図5 ここがPOINT 上から3行目	維持に働く筋肉では	維持に働く。筋肉では
236	下から14行目	…これらは共通の調節因子(フルクトース-2,6-ビスリン酸)により、	…これらの <b>共通の調節因子(フルクトース-2,6-ビスリン酸)は</b>
237	図5 ここがPOINT 下から2行目	逆の <b>脱リン酸化</b> はグルカゴンに	逆の <b>リン酸化</b> はグルカゴンに(脱をトル)
265	模範解答3行目	高カロリー食を食べ続けると、…	<b>過剰に糖分を摂取すると、…</b>
268	8行目	コレステロールは胆汁酸, ステロイドホルモン, <b>ビタミンD</b> に変換される。	コレステロールは胆汁酸, ステロイドホルモンに変換される。 <b>(ビタミンDをトル)</b>
269	QUESTION (2)	b <b>MG-CoA</b> リアーゼ	b <b>HMG-CoA</b> リアーゼ
288	左の欄外 本文1 行目	ファネシルニリン酸は…	<b>ファルネシル</b> ニリン酸は…
311	下から8行目	…皮膚表面の <b>角質細胞質</b> の成分で、…	…皮膚表面の <b>角質細胞間質</b> の成分で、…
378	左の欄外「代表的 な調節」 ①解糖系 4行目	AMPで阻害され、クエン酸で <b>活性化</b> される。	AMPで <b>活性化</b> され、クエン酸で <b>阻害</b> される。